責める前に、必要な支援を確かめる。

No.038 2021年7月19日発表 ／ 2026年10月22日改訂

日常の仕事で、何を確かめ、どこを変えるかを整理する提案です。

確認を進めるための整理（当社提案）

01 事実

何が、どの場面で起きたか

02 条件

情報・技能・時間・権限はあるか

03 支援

比べる例と、試す一歩を決める

本人を責める言葉より、進められる条件を具体的にする。

利用する場面・本人の条件・必要な支援に合わせて確かめます。

同じ場面を、何から確かめるか

No.038 2021年7月19日発表 ／ 2026年10月22日改訂

使い方を示す架空の例

途中で止まった提出資料

見直す関わり

意欲がないと決め、提出だけを迫る

改訂後に確かめること

途中の資料と完成例を比べ、止まった条件を聞く

必要な情報が届いていないのか、作り方が分からないのか、判断する権限がないのかで支援は変わります。説明や情報を補い、次に作る一部分と相談時点を決め、実際に進められたかを後で確かめます。

次の一件で使う、四つの確認

No.038 2021年7月19日発表 ／ 2026年10月22日改訂

1 **本人の価値と、仕事で起きたことを分けているか**

確認済み ／ 要確認 ／ 相談する

2 **難しかった条件を本人の説明から確かめたか**

確認済み ／ 要確認 ／ 相談する

3 **比較できる例や、必要な説明を用意したか**

確認済み ／ 要確認 ／ 相談する

4 **試す一歩・相談先・確認時点を共有したか**

確認済み ／ 要確認 ／ 相談する

説明できる範囲と、確認が必要なこと

No.038 2021年7月19日発表 ／ 2026年10月22日改訂

上記の四つは当社の実践提案です。一律の順序や成果を保証する方法ではなく、本人の反応、仕事の結果、負担を見て支援を見直します。

専門資格の申請者・保有者を対象とする倫理基準です。尊厳・自己決定の尊重や危害の低減を参照しました。本記事の四つの手順全体の効果を示す実験研究ではありません。

参照した一次資料

Behavior Analyst Certification Board, Ethics Code for Behavior Analysts（2020、2024年更新版）

https://www.bacb.com/wp-content/uploads/2022/01/Ethics-Code-for-Behavior-Analysts-240830-a.pdf

今回改めたことと、資料の使い方

No.038 2021年7月19日発表 ／ 2026年10月22日改訂

気づかせるために本人へ不快な言葉を向ける例、「力で排除する」との表現、行動の背景を一つの原因で説明する記述を改めました。本人の尊厳と意思を大切にし、仕事の条件と支援を確かめる提案として、表題・本文・図・添付PDFを改訂しました。

発表当時の記録を保持し、改訂内容と日付を示します。本資料の例や確認項目は、個別の条件に合わせて使うための提案です。

現在の公開資料と使い方の案内

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000343.000068315.html

お問い合わせ：リクエスト株式会社
request@requestgroup.jp
https://requestgroup.jp/request